

建物及び設備における主な石綿使用状況

2025年3月末現在

対 象		使用箇所	現状（使用状況等）	備考（対応状況他）
吹付け石綿		設備機器室、変圧器室等の防音材、断熱材、耐火材として一部の壁面や天井に使用。	・すべての使用箇所について飛散防止対策済。	・定期点検が必要な対策済の建物については、毎年状態を確認。
石綿含有製品	建 材	建物の耐火ボード、床材等に使用	・2006年8月以前に使用された建材の一部に含まれていると推定。それ以降は石綿含有製品は不使用。	・成形品であり、通常状態において飛散性はないため、修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取替え中。
	防音材	変圧器防音材 （変電設備、水力発電設備）	・70台	
	石綿セメント管	地中線用の管路材料 （送電設備、配電設備）	・こう長：約179km	
	保温材	発電設備 （原子力設備、火力設備）	・約5.5万㎡	
	シール材 ・ ジョイントシート	発電設備 （原子力設備、火力設備）	・約46万個	
	緩衝材	懸垂碍子 （送電設備）	・約134.8万個 （碍子内部において、緩衝材として石綿含有製品を使用。碍子表面の磁器部分には不使用。）	・成形品であり、加えて碍子内部に封入されており、通常状態において飛散性はないため、修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取替え中。
	増粘剤	架空線用の電線 （送電設備）	・電線防食剤：こう長約72.6km	・油性材料（防食グリース）と一体化しており、通常状態において飛散性はないため、修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取替え中。

（注）火力設備には、内燃力発電設備を含む。